

## 2023 年度(令和 5 年度) 第9回 生産技術委員会 議事要旨(案)

I.日 時 令和6年2月9日(金)午後 3 時から 5 時まで

II.場 所 木住協 6 階会議室及び ZOOM 開催

III.出席者(敬称略、順不同、※印は ZOOM 出席)、アンダーラインは欠席者

(委員出席:21名+委任状 10名+オブザーバー 2 名+事務局2名)

主 査:秋山 哲一(東洋大学名誉教授)、

委員長:秋本 正人(住友林業株)、副委員長:中藤 栄顕(ポラテック株)、

委員:※瀧澤哲也(住友林業株)、※谷口哲哉(株日本ハウスホールディングス)、※楡井 洋(古河林業株)、

北崎 直行(株AQ Group)、杉山 勝也(ポラテック株)、馬場 久尋(住友林業株)、

高橋 明久(タカノホーム株)、堀口 晃(ポラテック株)、彦坂恵多(サーラ住宅株)、

※久野 幹洋(ニチハ株)、※遠藤 龍司(BXカネシン株)、※澁谷 佑介(YKK AP株)、

※池田 昌彦(旭ファイバーグラス株)、落合 貴志(株小田急ハウジング)、熊谷 淳一(住友林業ホームテック株)、

小野 智行(株AQ Group)、※内山 岳彦(株エー・エス・ディ)、※貫戸 雄貴(株タナカ)、

池田 啓輔(ミサワホーム株)、吉川 誠二(株ハウゼコ)、松本 明美(松本設計ホールディングス株)、

※小寺 努(エスケー化研株)、鎌田 広道(株アルシーオ)、※工藤 俊美(近藤建設株)、

※折笠 定勝(株エー・エス・ディ)、※佐々木 直史(株LIXIL)、清田 耕平(株エヌ・シー・エヌ)、

氏居 亮平(新進建設株)、小川 泰史(株細田工務店)、※原口 誠(住友林業株)、

後上 知之(株カナイ)、小瀧 悠馬(株エバーサルホーム)、※市川 真(ナイス株)、

※今倉 秀樹(ジャパンホームシールド株)、※高橋 英教(株一条工務店)、北村 忠男(日本住環境株)、

河合 宏(株ファイブイズホーム)、市川 伸展代野本寛(ヤマト住建株)、※大森 真司(ミサワホーム株)、

オブザーバー:武永 祐嗣(株プラネックス)、川内 一毅(株プラネックス)、

※逆瀬川 博(株住宅審査補償事業)、佐々木 徹(住宅保証機構株)、

※浜本 和明(福井コンピュータアーキテクト株)、小山 義幸・高島 雅人(株アンドパッド)

事務局:小田嶋良一、松澤ひろ美

## 【報告・議事事項】

## 1. 前回議事録の確認

(資料2)

・読み上げ省略。加筆修正意見なし。

## 2. 各WG進捗報告(建設副産物・安全衛生CS・リフォーム・生産管理・合否)

(資料3-1~5)

## 【建設副産物WG】

…(馬場リーダー)

・石綿関連のセミナー動画が一通り終了した。今後、石綿取扱いに関するQ&Aについての動画を作成する予定。来月の委員会でご紹介できると思う。

・「石綿法令対応はまとめとこれ」シリーズの最後の章の解説動画を1月31日にHPにアップしましたので、ご視聴ください。

## 【安全衛生・CS WG】

…(瀧澤リーダー)

・「お客様の不安を安心に変えるコツ」の内容について、議事が一通り終了し、今後原稿を編集し、19日に臨時のWGを開催し、全体の再確認を行う。

3月の生産技術委員会では、成果品の案をご提示できる。

【リフォームWG】

…(小田嶋)

- ・既存住宅状況調査技術者講習の今年度の受講者は330名ぐらいになる見込み。不合格者が今年増えているので、来年度の考査問題を見直し、合格率を上げるように取組みをしたい。また、不合格者向けの再受講の制度を創設する計画がある。テキスト代がかからないので、安く受講できるような仕組みとして、事務規定を改訂しようと考えている。
- ・住宅リフォームにおける石綿含有建材の取り扱いに関するヒアリングが行われ、その資料の共有をおこなった。
- ・リフォーム版の施工管理チェックポイントマニュアルについて、議事を進めている。小WGを開いて少しずつ作成している。

【生産管理WG】

…(小田嶋)

- ・施工管理チェックポイントマニュアルの改訂に伴い、書籍は多く購入して頂いているが、セミナー動画はあまり活用されていない。一般公開してはどうかとの意見も頂き今後の検討課題。
- ・設計施工一貫の請負契約における工事監理のあり方についての議論をすすめている。4号特例縮小された際の扱いも整理が必要と考えている。
- ・建築大工等技能者検討会の資料の共有をした。

3. 人手不足社会において求められる住宅生産のあり方

(資料4-1～2)

- ・蟹澤教授の講演資料の共有をする。新たな大工の将来像について提案された。

4. 低層住宅労働災害発生状況調査協力をお願い

(資料5-1～2)

- ・毎年実施している労災発生状況に関する住団連の調査依頼について、情報共有を再度行う。

5. 電力ケーブル不足の現状について

(資料6-1～3)

- ・年始に頂いた、個社の状況について、住団連で集めた意見をまとめた資料を共有。
- ・(楡井委員) 年始の状況から最近になって状況が悪化していて、供給予定が遅延している。能登の震災による樹脂メーカーの被災の影響で、製造が半減しているとの話を聞いている。

6. 「東京都太陽光発電設備高度循環利用推進会議」資料

(資料7)

- ・住団連の環境委員会からの資料提供。太陽光発電パネルのリサイクルや補助金等の資料です。

7. 「ウッドチェンジ協議会木材利用環境整備G」資料

(資料8)

- ・住団連の環境委員会からの資料提供。木材利用を推進するための議論をしている協議体。木材利用に向けた取り組みについて、この度アンケート依頼があり、木住協案を作成した。  
ご意見がありましたら、事務局までご連絡をお願いします。

8. 「アスベスト含有建材データベース運営委員会」資料

(資料9)

- ・住団連の環境委員会からの資料提供。データベースを普及するための協議体。石綿含有建材の取り扱いについて、リフォームに際してのアンケートが実施された。  
大手企業や中小企業、建材企業等13社からの意見を紹介。参考になる取組もあり、参考にご確認をお願いします。

## 【フリーコメント】

(2月度委員会ではNO.3～24の委員様まで実施)

・(秋山主査)能登の仮設住宅の建設を木住協が担うことになった際は、取り組み状況や課題について報告して頂くとありがたい。可能であれば、厳しい施工条件の中での計画時点と工事実施時点のギャップ等をレポートして頂きたい。液状化に関する情報も共有して頂くと役に立つ。

韓国の合計特殊出生率が0.6人と低く、将来的には国を外国人に奪取られるような状況になるのではないかと、というセンセーショナルな新聞記事を見た。結婚適齢期にある若者の貧富の差が拡大し、結婚して安定的に子供を育てる環境にないらしい。外国人労働者への依存を高めざるを得ない韓国では、日本の技能実習生制度と似たような政策を行っていたが、日本の技能実習生制度が特定技能制度に変化したように、韓国では日本より早い時期に、外国人労働者の滞在要件の緩和を進めている。そのことを反映して、外国人労働者が多く居住する地域が発生しているが、韓国の外国人労働者支援体制が十分ではないようだ。日本の外国人の受け入れ態勢をどのように実施するか今後の検討が必要。単純労働を目的で人を集めると、当事者の労働に対する満足度は低い。結果として日本の評判が悪くなる可能性がある。住宅建設の現場では、それぞれ個別性が高いので多様な判断力・技能を担える可能性がある。どのような労働環境を提供できるのかが問われている。日本も他人ごとではない緊張感が必要ではないか。

以上

## 【次回 令和5年度第10回生産技術委員会・WG】

- |                  |                                  |
|------------------|----------------------------------|
| ・生産技術委員会         | 令和6年3月 8日(金)15:00～17:00(木住協 会議室) |
| ・建設副産物WG         | 令和6年3月 4日(月)13:00～15:00(木住協 会議室) |
| ・安全衛生CS WG       | 令和6年3月 4日(月)15:00～17:00(木住協 会議室) |
| ・リフォームWG         | 令和6年3月 7日(木)10:30～12:00(木住協 会議室) |
| ・生産管理WG          | 令和6年3月 8日(金)13:00～14:30(木住協 会議室) |
| ・合否委員会(2月の講習合否等) | 令和6年2月下旬～3月上旬(書面開催予定)            |